



航空機操縦士養成連絡協議会

各ワーキンググループとりまとめ概要
(平成29年度)

学費負担軽減ワーキンググループ

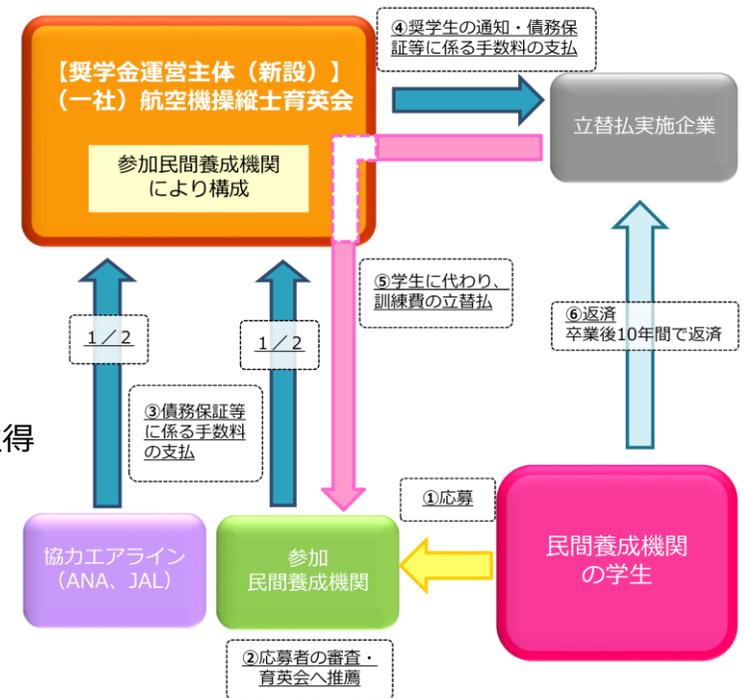
具体的な検討内容

■無利子貸与型奨学金「未来のパイロット」の創設

無利子貸与型奨学金の創設に向けた検討を進め、エアライン2社の協力も得て、私立大学等6つの民間養成機関のパイロット養成課程の学生に対して訓練費を無利子貸与する奨学金「未来のパイロット」を創設することができ、昨年11月28日に記者発表等を行った。

なお、本奨学金事業の概要は以下のとおりであり、来年度から事業開始予定。

- 運営主体 一般社団法人 航空機操縦士育英会
(平成29年11月27日設立)
- 参加養成機関 (私立大学) 桜美林大学、東海大学、崇城大学、
千葉科学大学
(専門学校) 日本航空大学校
(訓練事業者) 新日本航空
- 協力エアライン ANAホールディングス、日本航空
- 貸与人数 当面、1学年あたり25名程度
(1民間養成機関あたり3~5名)
- 貸与額等 1人当たり500万円を1~3回に分けて貸与し卒業後
10年間で返済。
- 選定基準 入試及び在学中の成績、英語能力、操縦技能証明取得
に関する学科試験結果等により判断。
(詳細は養成機関毎に設定。)
- 手数料 1人当たり約60万円。
参加養成機関と協力エアラインで折半。



今後の検討課題・取組み等

- 本年度、無利子貸与型奨学金の創設を達成したため、引き続き「未来のパイロット」の運営主体である(一社)航空機操縦士育英会及び参加民間養成機関から運用状況等の情報共有を受け、奨学生の拡充(人数・貸与額)等、本事業の発展について、関係者と連携して検討していく。当面、「未来のパイロット」に参加していない民間養成機関に対する本奨学金への参加呼びかけや、ANAホールディングス及び日本航空以外のエアラインや、その他の航空関係会社等に対し奨学金への協力を呼びかける。

技量向上ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■ヒアリング（アンケート）の実施 - これまでの活動の振り返り -

改めてこれまでの活動に関する効果測定及び新たな課題の有無の把握・検討のため、事務局において関係者へのヒアリング（アンケート形式）を実施した。

今後の検討課題・取組み等

今回実施したような効果測定と課題抽出については、今後も適宜行うとともに、抽出された課題に応じて、テーマ毎に小グループを設けて検討する等、より具体的な対応策を検討していく。

裾野拡大ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■個別の取組のネットワーク化等による航空業界全体の取組の推進

・ヘリコプター操縦士に関する職種紹介等の情報を新たにSKYWORKSに追加。（H29.8）

■女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者の増加に向けた取組

・現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会を開催。（H29.12）

■その他

- ・経済産業省（中部経済産業局）において（独）国立高等専門学校機構等と連携し、学生を対象に航空宇宙先端技術分野に係る特別講義を実施。
- ・子ども霞が関見学デーへの協力
- ・各航空会社における取り組み（航空教室の実施、工場見学等）

今後の検討課題・取組み等

- 「子ども霞が関見学デー」や「航空教室」等、これまで実施してきた各種裾野拡大の取り組みは、可能な限り次年度においても継続して計画・実行する。
- 更なる裾野拡大への取組について、検討を行う。